

【第3号議案】

2019年度事業計画書(案)

(2019年4月1日～2020年3月31日)

I 概況

来年開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて関連施設や、観光客などの受入のため全国各地で様々な施設の建築やリニューアルが行われています。加えて、昨年度補正予算で認められた小中学校のエアコン設置への対応など、受配電設備の高い需要が見込まれています。

一方で、昨年「働き方改革関連法」が施行され、時間外労働の上限規制等の適用が大企業は、今年4月1日から、中小企業でも来年4月から適用されるため、受注が年度末に集中する当業界にとって、早急な対応が求められています。

これらの課題に対応するため、今年度は技術委員会におけるJSIA規格・技術資料の改正審議等のほか以下の事業を実施し、業界の置かれている課題改善に向けて取り組みます。

① 人手不足への対応

本年4月より特定の産業分野について、新たに5年間、外国人の在留資格が認められることとなりました。この制度は、「配電盤・制御盤組立て」等当業界に関連する職種についても、技能実習制度を修了した外国人に適用されることとなりました。このため、会員の皆さまのニーズを把握しながら、必要により本制度の説明会を開催する予定です。

また、JECA FAIR などを通じ、学生に業界のPRを行います。

② 働き方改革への対応

長時間労働につながる短納期発注や発注内容の頻繁な変更について国を挙げて改善に取り組んでいます。当会でも法令順守に向けて働き方改革に対する考え方を取りまとめます。

③ 小中学校へのエアコン設置への対応

地方自治体の設置計画に対し、既の実施した調査結果を参考に弾力的に対応し、国の施策に協力します。

II 主要実施予定事業

1. 調査研究・標準化事業

1.1 調査研究事業

(1) 施工の省力化に対応した配電盤類の構造検討（継続）

公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）で要求されている配電盤類の構造を基に施工時の省力化（例えば、外線引込時の盤加工作業の削除等）に対応した組立て・構造について検討を行うとともに、標準仕様書改定時に見直し要望を行います。

主として、盤の構造、機器機材、配線の3部門の検討を予定しています。

(2) 盤業界視点での「ネットワーク解説書」作成に向けた調査

当業界でもIoTの普及に伴い、ネットワーク構築の需要が増加されることが予想されます。このため、ネットワークに関する各種情報の収集に努め、最終ゴールとして、「盤メーカーのための産業用ネットワークの基礎知識」の作成を目指します。

ネットワークの歴史、種類、基本技術等を説明するとともに、実践において産業用ネットワークがどのようにして選定されるのか、若手技術者が理解できる内容に仕上げます。

1.2 規格、技術資料の改定・標準化事業

電気エネルギーを安全に使用するため、配電制御システムに関する規格や基準の制定・改定を計画的に行い、公開します。

(1) JSIA 113「キャビネット形動力制御盤」の改定

公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）が2019年3月に改正されたことに伴い、内容を見直し改正します。

(2) JSIA 200「キュービクル式高圧受電設備通則」関連規格の改定（継続）

JIS C 4620「キュービクル式高圧受電設備」の改正に伴い、JSIA 200の改正を進めていますが、関連規格のJSIA 201「400V級キュービクル式受電設備」JSIA 210「開放形高圧受電設備」内容を見直し改正します。

(3)「配電盤類の更新推奨」パンフレットの作成

電気設備使用者へ、配電盤類（高圧・低圧）の寿命についてパンフレットを作成し、更新対応の啓蒙を図ります。

1.3 外部技術委員会との意見交換

各種最新動向の収集、技術情報の共有を目的に、他団体の委員会と情報交換会を開催し規格・基準への反映、啓蒙を図ります。

- (1) 日本電機工業会との技術情報交換会
- (2) キャビネット工業会との情報交換会

2. システム検査事業

(1) 配電制御システム検査技能審査試験の実施

配電制御システムの検査業務に従事する技術者の知識及び技能の向上を目的として平成7年より「配電制御システム検査技能審査試験」を実施しており、今年度も10月第3土曜日に全国9会場で実施を予定しています。

(2) 技能検定試験の実施

中央職業能力開発協会からの依頼により、「電気製図」及び「電気機器組立」の2職種について中央技能検定委員を派遣するとともに、各都道府県職業能力開発協会から委託を受けた支部は、委員の派遣や技能検定試験を実施します。

(3) テキストの発行

配電制御システム検査技能審査「学科試験問題と解説」の2019年度版を発行します。

3. 講習会、セミナーなど

(1) 技術セミナーなど

制御情報・新エネルギー等に関連する最新の技術的動向や委員会活動の成果報告等のセミナーを継続して開催します。

(2) 耐熱形配電盤等認定事業講習会

「耐熱形配電盤等認定の手引」の改定に伴う講習会を認定取得者対象に実施します。

(3) 産業用ソーラのメンテナンスに関する支援事業

会員企業が産業用ソーラメンテナンス事業に取り組むために必要な研修の実施や情報の共有化に取り組みます。昨年度に引き続き、会員企業の要望に応じて年間3~4回を計画します。

(4) JSIA 優良工場指定講習会

技術者・技能者の育成、標準化活動、適合性活動について、課題の整理・選別を行い、他団体・企業と協力し、技術力の強化に向けた活動を推進します。

今年度は、規格改正（JSIA、JEM規格）の動向説明に加え、新しい認定制度（規格適合性審査）における申請図書類の取りまとめ方に関する説明会を開催します。

4. 認定事業

(1) 耐熱形配電盤等認定事業

今年度は、250型式を超える更新期限が到来するため、円滑な審議に努めます。

また、第一種耐熱形配電盤等についてより効率的な製造が可能か検討を行い「耐熱形配電盤等型式認定の手引」の改定に反映させる予定です。

(2) 耐熱形配電盤等機器認定事業

耐熱形配電盤等に用いる機器の性能、構造及び材質等の品質確保を図るため、認定機器及び登録機器の認定を実施します。

(3) JSIA 優良工場認定事業

機種別規格適合審査（配電盤、分電盤、制御盤）では、JIS Q 9001の品質マネジメントシステムが構築されていることを前提として、2017年度から試行審査を実施してきましたが、今年度で試行審査を終了します。

今年度は、これまでの試行審査で明らかになった課題等を整理し、2020年度からの本審査に向けた体制の強化に努めます。

また、配電盤、分電盤、制御盤それぞれのJIS又はJSIA規格等の適合性を検証する形式検査及び同等品質の製品を継続して製造できることを確認するための審査方法の周知を図ります。

5. 経営の改善に関する事業

(1) e-JSIA 事業

e-JSIAシステムは安定化が図られたため、利用範囲の拡大について検討を行います。

(2) 事業推進活動

本年4月に施行される働き方関連法に対応した本会の考え方についてとりまとめ、必要に応じ関係団体への意見具申等を行います。

6. その他の事業

(1) 小中学校へのエアコン設置に伴うキュービクル納入について

夏の暑さ対策として、エアコンが未設置の小中学校にエアコンの設置が予算化されて

いますが、会員・地域によって繁忙感が異なるため、円滑なキュービクルの納入を行うため情報の共有を図ります。

(2) 外国人材の受入への対応

本年4月より特定産業分野について5年間の在留資格が認められました。技能実習制度を修了した外国人にこの制度が適用されるため、必要に応じ制度の説明会を開催し周知を図ります。

(3) 青年部活動

第2回青年部全国大会を4月18日に仙台で開催、各支部の青年部事業に他支部の会員も参加しながら交流を深める予定です。

(4) 証明書の発行（中小企業等経営強化法の経営力向上設備税制）

中小企業等経営強化法の「経営力向上設備税制」は、本年3月で終了する予定でしたが2年間（2021年3月まで）延長されます。引き続き「受変電設備」の証明書発行団体として、円滑な処理に努めております。

(5) 出版事業及び成果物の開示

技術資料や調査研究事業の報告書は、技術力向上のため研修や自己研鑽のテキストとしてウェブページでの公開や出版物として発行します。

(6) 自主統計の実施

業界動向を継続的に把握するため、各種統計調査を行います。引き続き多数の会員の皆様方のご協力をお願いします。

四半期毎に「景況観測調査」また、年1回「経営分析調査」「生産統計調査」「賃金実態調査」を引き続き行い、ウェブページに掲載します。

(7) 広報活動

「ウェブページ」や「JSIA ニュース」を活用し、JSIAの取り組みや成果、国の施策、省エネなどの有益と思われる情報のタイムリーな発信に努めます。

また、JECA FAIRへの出展などにより対外的な認知度の向上に努めます。

【主な広報媒体は以下の通り】

- ・機関誌「JSIA」・・・年1回
- ・JECA FAIR 2019（第67回電設工業展）への出展
学生や生徒にも当業界がわかりやすい展示を行い、業界のPRに努めます。
- ・「JSIA ニュース」の配信・・・必要の都度(月1回程度)

(8) 表彰事業

永年にわたり業界及び本会の発展に貢献された方々を称えるため、下記の表彰を行います。

- ・配電制御システム永年功績者表彰
- ・優良従業員表彰

(9) PL 保険事業

1997年から配電盤類の事故による納入先への損害補償制度を実施しています。

また、PL保険に加え、対人・対物事故を伴わない経済的損失をカバーできる保険の取り扱いも行っています。

Ⅲ 支部実施予定事業

本部の方針に基づき実施する事業のほか、それぞれの地域の実情に即した事業活動を推進していきます。最新技術動向の把握や技術力向上に向けて、委員会や講習会などをタイムリーに実施します。

また、関係官庁、関係団体との意見交換・交流を通じ、本会の地位向上・取引の改善を図ります。

1. 共通して実施する事業

(1) 広報活動

ウェブページによる情報発信、関係官庁、関係団体などから入手した情報提供及びパンフレット等の配布などを行います。

(2) 経営改善事業

関係団体等との連携、協議などにより地域の実情に沿った事業の推進に努めます。

(3) 配電制御システム検査技能審査事業

配電制御システム検査技能審査試験を実施します。

(4) 講習会、研修会、セミナーなどの開催

各種試験の受験に向けて技術講習会、電気技術関連研修会、JSIA 優良工場指定講習会、工場見学会などの教育・訓練の推進をします。

(5) 交流事業

- ・ 関係機関、関係団体、会員相互の意見交換及び交流を行います。
- ・ 野球大会、テニス大会など支部の特徴を生かした交流事業を実施し、健康の増進に努めます。

(6) 青年部活動

若手経営者による情報交換、交流会などを必要に応じ各地の青年部と連携して行います。

2. 特定の支部で実施する事業

(1) 技能検定試験の実施

下記のとおり実施します。なお、中部支部の電気製図作業、電気機器組立て作業、シーケンス作業等は、愛知県電機技術工学院で行っています。

- ・ 電気製図作業・・・北海道支部、東京支部、中部支部、関西支部
- ・ 電気機器組立作業・・・北海道支部、東京支部、中部支部、関西支部
- ・ シーケンス制御作業・・・東京支部、関西支部
- ・ 電子機器組立作業・・・関西支部

(2) 営業研修・・・九州支部

(3) 表彰事業

支部長による優秀技能者の表彰などを行います。

IV 組織図

【組織図】

